

平成21年度 高知県建設系教育協議会（4K）

<http://kochikensetsu.ehoh.net>

定時総会資料

- 総会プログラム
- 出席予定者
- 平成20年度事業報告
- 平成20年度会計報告
- 平成21年度事業計画
- 会則の改廃・任期中の役員変更
- 役員名簿
- 会員名簿

日時：平成21年7月11日（土）15時30分～

会場：高知工業高等学校 会議室

○総会プログラム

日時・会場 平成21年7月11日(土) 高知工業高等学校会議室

開会 15時30分～(進行:山岡先生)

- ・開会の挨拶(草柳会長)
- ・来賓挨拶(土佐国道事務所 荻野宏之所長)
- ・新加盟校、新会員の紹介(自己紹介)

講演 15時45分～16時45分

- ・高知高専 岡田将治准教授
「教育・研究を通じた学生力向上の取り組み」

表彰 16時45分～16時55分

- ・高校生四阿コンペ表彰及び最優秀者プレゼン(安芸桜ヶ丘高校 山脇稜平君)

総会 17時00分～18時

- ・開会の挨拶(平田副会長)
- ・来賓挨拶(高知県教育委員会 北村晋助指導主事)
- ・平成20年度事業報告(永井事務局長)
- ・平成20年度会計報告及び監査報告(清岡先生・金子先生)
- ・平成21年度事業計画(草柳会長)
 - 舟入川を学ぶ会(8月28・29日)について
 - 大山岬設置予定の四阿建設の進行状態及び今後の展開について
 - 高校生課題研究支援授業の進行状態について
 - 平成22年度「学ぶ会」の開催について
- ・協議事項
 - 会則の変更(草柳会長)
 - 次期(平成22年度)会長・執行部選出の件
- ・閉会の挨拶(次期会長)
- ・集合写真

交流会 18時30分～

はりやま町2-1-3 「一句」 TEL 088-824-2030
大丸東館を電車通りに向かって歩くと左側(北側)すぐ...昨年と同じ場所。

以上

○平成20年度 事業報告

●6月30日 常任幹事会の開催

4K総会準備、「吉良川の町並みを学ぶ会」および「小・中学生夏休み図画コンクール～お遍路さんの休憩所～」の細目について打ち合わせ

●7月5日（土） 総会の開催

高知工科大学社会システム工学科 重山陽一郎教授に講演「横浜の都市デザイン」をお願いした

●8月23日（土）・24日（日） 「吉良川の町並みを学ぶ会」の開催

●10月18日（土） 高知工科大学主催の「第3回測量コンテスト」に共催

●10月18日（土）・19日（日） 高知工科大学社会システム工学科主催の「コンクリート甲子園 in 高知工科大学」に共催

●11月29日（土） 四国高等学校土木教育研究会主催「第2回橋梁模型コンテスト」を後援。特別デザイン賞の表彰

●12月1日（月） 常任幹事会の開催

お遍路さんの休憩所図画コンクール表彰・今後の展開・スケジュールの調整
高校生課題支援事業発表会・理事会および21年度学ぶ会の準備

●12月15日（月） 「お遍路さんの休憩所」図画コンクール表彰（香我美小学校）

●2月3日（土） 高校生課題研究支援事業発表会開催（かるぽーと 小ホール） 理事会の開催（喜八）

●3月17日（火） 「お遍路さんの休憩所」高校生デザインコンペ審査

●6月23日（月） 常任幹事会の開催

お遍路さんの休憩所デザインコンペ表彰・今後の展開・スケジュールの調整
高校生課題研究支援事業の進行状況確認
具体的年間行事、スケジュールの細目検討、21年度学ぶ会の準備
平成21年度の総会開催準備、会則の改廃につき検討

○平成20年度 会計報告（別紙報告書による）

高知県建設系教育協議会 平成20年度研修会

「吉良川町の町並みを学ぶ会」

実施報告

実施日：2008. 08. 23～08. 24

ポスター、チラシ



ポスター(A2版 45枚)



チラシ(A4版 110枚)

タイムスケジュール(8月23日)

- 13:00～14:00 開会行事
- 14:00～15:00 バス移動
(発)安芸桜ヶ丘高校→(着)吉良川町並み駐車場
- 15:00～16:30 町並み見学
- 16:30～17:00 バス移動
(発)吉良川町並み駐車場→(着)室戸青少年自然の家
- 17:00～17:45 入所式(本館 オリエンテーション室)
- 17:45～19:00 夕食・入浴
- 19:30～21:15 学習まとめ報告会(本館 第2集会室)
- 21:15～21:30 移動(徒歩) (発)本館→(着)第2ロτζ
- 22:00まで 消灯

タイムスケジュール(8月24日)

- 6:30～7:15 起床、出発準備
- 7:15～7:30 移動(徒歩) (発)第2ロτζ→(着)本館
- 7:30～8:00 朝食
- 8:00～8:30 バス移動
(発)室戸青少年自然の家→(着)吉良川小学校
- 8:30～8:45 オリエンテーション(体育館)
- 8:45～9:35 開会行事
- 9:35～11:05 町並み見学
- 11:05～12:15 学習まとめ報告会(体育館)
- 12:15～12:30 閉会行事
- 12:30 解散
- 12:30～13:30 バス移動
(発)吉良川小学校→(着)安芸桜ヶ丘高校

「吉良川町の町並みを学ぶ会」の概要

1. 「開会行事(初日)」(8月23日 13:00～14:00)



会場：安芸桜ヶ丘高校
視聴覚室



国土交通省四国地方整備局 荻野宏之 土佐国道事務所長

2. 「町並み見学」(8月23日 15:00～16:30)



- ◆現地在高校生・大学生が巡回しつつ案内人の説明を聞き、学習
- ◆参加者は高校生18名 大学生7名 教員15名 計40名。全6班に配分
- ◆高校生3～4名、大学生1名、教員1～2名が1つの班を構成
- ◆案内人は安芸桜ヶ丘高校 岩真教諭と谷口教諭の2名

3. 「学習まとめ報告会」(8月23日 19:30～21:15)



班毎にワークショップをおこなう。
教員はサポート役。
作業時間は1時間10分程度。



発表は35分程度(5分発表+1分質疑)。
極力高校生の発表を多くするように配慮。



会場は「室戸青少年自然の家」
第2集会室

4. 「開会行事(2日目)」(8月24日 8:45～9:50)



会場: 吉良川小学校
体育館



高知県教育委員会事務局文化財課 溝淵博彦課長補佐

5. 「町並み見学」(8月24日 9:50～11:00)



- ◆各班に、24日に参加の小学生(12名)を2～3名ずつ配分する
- ◆参加者数は小学生12名 高校生18名 大学生7名 教員11名
- ◆他、報道・地元商店街・小学校教員等、総数約60名
- ◆班ごとに巡回し、高校生・大学生が小学生に町並みを説明
- ◆基調講演を行った県教委・溝淵課長補佐と、前日の案内人を務めた岩貞教諭・谷口教諭の3名は、重要ポイントを巡回しつつ、各班パーティが来訪した際に解説を加えた

6. 「学習まとめ報告会」(8月24日 11:00～12:15)

町並みを巡回後、再び吉良川小学校体育館へ戻る



班毎にワークショップをおこなう。
教員のサポートは前日より少ない。



発表は25分程度(4分発表+1分質疑)。
極力小学生の発表を多くするように配慮。
作業時間は50分程度。

7. 「閉会行事」(8月24日 12:15～12:30)



小学生には、認定証と一緒にワークシートの写真も渡した



絵画を模した「案内士認定証」(安芸様ヶ丘高作製)

報道ぶり

2008年8月25日高知新聞朝刊24面



参加者数

引率教員 23日:15名 24日:10名
大学生 7名
高校生 18名
小学生 11名



プロジェクト

お遍路さんの休憩所（四阿）プロジェクト進捗状況

1. 小・中学生 夏休み図画コンクール

<応募・表彰結果>

- 応募学校団体賞・・・・・・・・・・・・・・ 香南市立香我美小学校
- グループ応募 メルヘンで賞・・・・・・・・ 香南市立香我美小学校 5年 B組 1班
(別役菜奈、行宗茉衣、藤村和樹、野村充伸)
- グループ応募 眺めが良いで賞・・・・ 香南市立香我美小学校 5年 B組 5班
(福守勇魚、小野世理、乾雅貴、猪原佑美)
- 個人アイデア賞
- 香我美小学校・・・・・・・・・・・・・・ 6年 十万悠(A組)、小倉彩華(B組)、坂本瞳(B組)
5年 岩川堯世(A組)、土居大河(A組)
久保和子(A組)、山崎東和(A組)
- 安芸小学校・・・・・・・・・・・・・・ 6年 影山星南
- 参加賞・・・・・・・・・・・・・・ 100名



募集チラシ



表彰式（12月10日香我美小学校）

グループ応募 入賞作品

2. 高校生 デザインコンペ

< 応募・表彰結果 >

応募者一覧

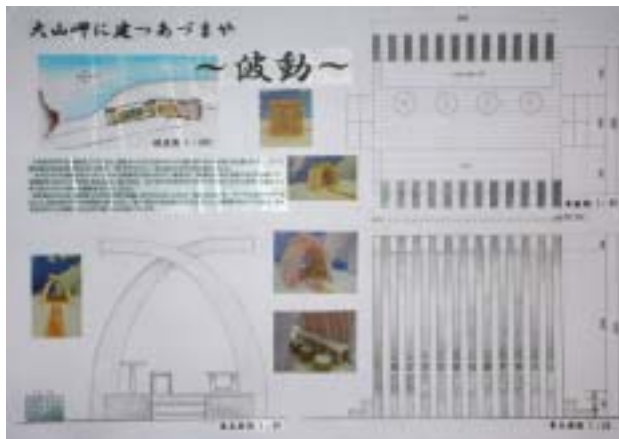
高知工業建築科（指導教員：末政先生）・・・ 泉本浩次郎（優秀賞）、上野裕也、黒瀬裕也
松田夏鈴、矢間翔

高知農業環境土木科（指導教員：渡邊先生）・・・ 島内勇輝（努力賞）、高瀬大希
武内敦土、元吉佑太

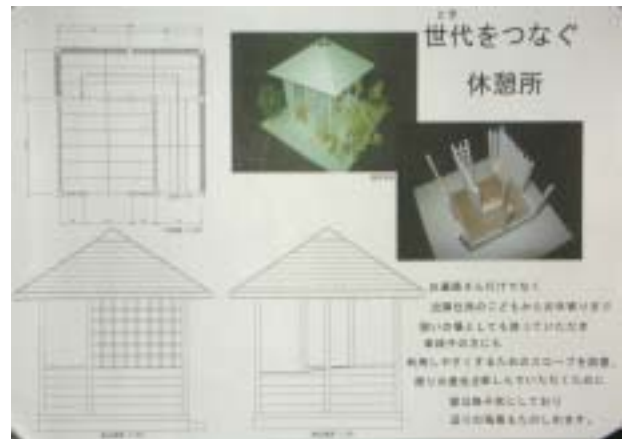
安芸桜ヶ丘環境建設科建築専攻（指導教員：谷口先生）・・・ 川端有希（優秀賞）
山脇稜平（最優秀賞）

計 11 名

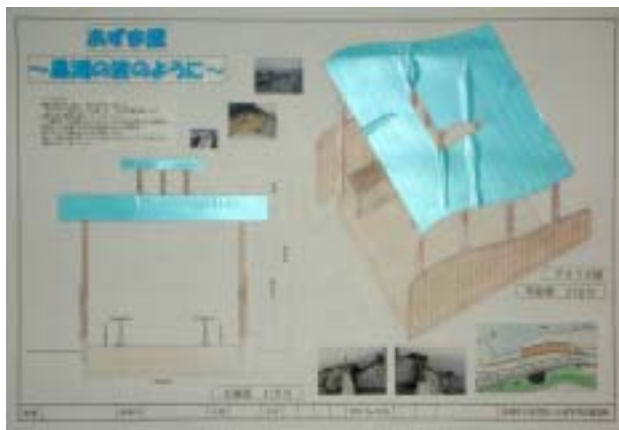
優秀作品



最優秀賞：山脇稜平君（安芸桜ヶ丘高校）



優秀賞：泉本浩次郎君（高知工業高校）



優秀賞：川端有希君（安芸桜ヶ丘高校）

< 審査委員（代理出席者を含む） >

三戸 雅文（高知河川国道事務所長）

荻野 宏之（土佐国道事務所長）

高橋 誠（高知新聞社記者）

重山 陽一郎（高知工科大学）

吉田 晋（高知工科大学）

< 表彰景品（計 24,000 円） >

最優秀賞...図書券 5,000 円

優秀賞...図書券 3,000 円 × 2 名 = 6,000 円

努力賞...図書券 2,000 円

参加賞...製図用シャープペン 1,000 円

× 11 名 = 11,000 円

< 審査委員講評 >

今回は、多くの作品が出品され、しかも力作ぞろいでした。高校生らしい斬新な案がいくつも見られたことは、審査員を驚かせるに十分でした。

高校生の皆さんの力量と努力に敬意と感謝を表したいと思います。

最優秀作品は、弓形の構造部材を交互に組み合わせたもので、非常に面白い形の提案でした。

また、四阿だけでなく、そこへ至るアプローチまで含めて提案されていることは、利用者の視点に立って空間体験をトータルにデザインしようという意図が見受けられ、審査員一同をうならせる出来映えでした。

今後、提案の実現にむけては、構造的な合理性、施工性、耐久性、建設費用などについて、さらに詳細を検討する必要がありますが、当初のイメージを大切にしながら、竣工を目指していただきたいと思います。最後に、出品していただいた皆様、関係者の皆様にお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

平成 21 年 3 月 吉日 重山 陽一郎（高知工科大学）

● 平成20年度 高校生課題研究支援事業 発表会

期日： 平成21年2月3日火曜日 13時30分より16時10分まで

会場： 高知市文化プラザかるぽーと 小ホール

主催および共催・後援

- (1)主催 高知県建設系教育協議会
- (2)共催 高知県立高知工業高等学校土木科
- (3)後援 高知県教育委員会、土木学会四国支部、建築学会四国支部

審査員長および審査委員

- (1)審査委員長 高知県建設系教育協議会 会長 草柳俊二
- (2)審査委員 高知大学農学部 大年邦雄
高知工業高校（定時制）今津敏文
高知農業高校 渡邊耕司
高知県教育委員会 北村晋助
国土交通省 荻野宏之、寺内正範、後藤文男
高知新聞社 高橋誠

以上9名

発表テーマ及び受賞者

発表順	研究テーマ	発表校・学科	支援指導者	受賞名	受賞者
1	南海大地震	高知工業高校 土木科	高知工科大学 工学部 社会システム工学科 中田 慎介先生		
2	橋梁模型製作 ～コンテストに挑戦～	高知工業高校 土木科	高知工科大学 工学部 社会システム工学科 永井 博之先生	優秀賞	松下亮太 渡邊大樹 山本健弘
3	津波の研究～波を測る	高知工業高校 土木科	高知高専 建設システム 工学科 寺田 幸博先生		
4	公園デザインの研究	高知工業高校 土木科	高知工科大学 工学部 社会システム工学科 重山 陽一郎先生		
5	コンクリートの研究 ～最高強度を目指して～	高知工業高校 土木科	高知高専 建設システム 工学科 横井 克則先生	最優秀賞	岡林立晃 海治史典 岡部重輝
6	まちづくりの研究	高知工業高校 土木科	高知工科大学 工学部 社会システム工学科 大谷 英人先生		
7	カフェの調査と設計	高知工業高校 土木科	高知工科大学 工学部 社会システム工学科 吉田 晋先生		
8	絶海池の環境調査	高知工業高校 土木科	高知工業高校 土木科 高知大学 農学部 流域 環境工学コース 藤原 拓先生	奨励賞	橋村真典 安田涉 山崎俊 吉村有史
9	擁壁の調査	高知工業高校 土木科	高知工業高校 土木科 (株)第一コンサルタンツ 右城 猛先生		
10	ダム模型の製作	高知工業高校 土木科	高知工業高校 土木科 清岡先生の直接 指導		

表彰項目（発表10グループ・・・1グループ3名）

得点上位順3グループ表彰

- 最優秀賞 （表彰状A3・盾・・・図書券@2000＝6000円）
- 優秀賞 （表彰状A3・図書券@1500＝4500円）
- 奨励賞 （表彰状A3・図書券@1000＝3000円）

● 平成20年度 第2回コンクリート甲子園 in 高知工科大学

期日： 平成20年10月18日（土）・19日（日）

会場： 高知工科大学

主催および共催・後援

- (1)主催 高知工科大学 社会システム工学科
- (2)共催 高知県建設系教育協議会
- (3)後援 土木学会 四国支部

参加校・トーナメント結果



第三回 測量コンテスト

2008年10月18日 於：高知工科大学

共催

高知県建設系教育協議会

後援

国土交通省 四国地方整備局

国土交通省 国土地理院 四国地方測量部

日本測量協会 四国支部

審査員

国土地理院 四国地方測量部 佐藤宗一郎

国土地理院 四国地方測量部 愛場政広

測量技術センター 四国支所長 西田文雄



今回のターゲット

第三回コンテストの手引き

今回のコンテストにおける最確値 28.845 m

精密機器使用部門

総合優勝

高知工業高等学校 to go

測量結果：28.848m 標準偏差：0.0029m

技能賞

伏見工業高等学校 伏見シビルクラブA

測量結果：28.849m 標準偏差：0.0010m

敢闘賞

伏見工業高等学校 伏見シビルクラブB

測量結果：28.850m 標準偏差：0.0021m



自作機器使用部門

総合優勝

混成チーム 従姉妹組

測量結果：28.808m

技能賞

近畿測量専門学校 ありだーズ

測量結果：28.519m

敢闘賞

高知工業高等学校 山崎組

測量結果：29.645 m



● 平成20年度 第2回橋梁模型コンテスト四国大会

期日： 平成20年11月29日（土）

会場： 高知工業高校

主催および共催・後援

(1)主催 四国高等学校土木教育研究会

(2)後援 高知県建設系教育協議会、高知県教育委員会

審査員

高知工科大学 永井先生

高知工業高等学校 山岡先生

多度津工業高等学校 西藤先生

高知県橋梁会 右城会長

参加校・コンテスト結果

高知工業高等学校土木科……3年生3名

高知工業高等学校土木科……3年生2名

15kgfの荷重に耐えた模型を制作：高知工業 山本健弘君、渡辺大樹君

その他は部材同士の接着が不完全なため5kgfの荷重に耐えられなかった



幾寸の型紙に合わせて橋型の製作



渡辺大樹君の橋型の載荷試験



接着剤が乾くまでダブルクリップで固定



表彰式で優勝した山本健弘君に賞状を授与する者



引張材には紙糸を使用するのが有効



最善に記念撮影(永井先生が撮影)

○平成21年度事業計画

平成21年度 事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	リーダー サブリーダー
総会			● 7/11 総会										会長 事務局長
理事会										● 2月上旬 理事会			会長 事務局長
プロジェクトⅠ 学ぶ会	● 8/28,29 舟入川 学ぶ会												幹事校 (高知農業高校)
プロジェクトⅡ 小・中・高コンペ 高知県を知ろう・考えよう													(活動休止中)
プロジェクトⅢ 「浜千鳥公園」四阿建設	●											吉田先生 松本先生 谷口先生 (2010年6月の完成を目指す)	
プロジェクトⅣ 課題研究支援										● 2月上旬 発表会			会長 事務局長

舟入川を学ぶ会

参加者募集

主催 高知県建設系教育協議会

共催 NPO 法人 高知社会基盤システム研究センター
高知県内の建設系専門高校・高専・大学生が工学・農学の分野にとらわれず、縦横に幅広く学習し、連携する機会を設けることで、未来に通用する建設系技術者を育成することを目指しています。

後援 高知県教育委員会、国土交通省四国地方整備局
土木学会四国支部、日本建築学会四国支部

日 時：平成21年8月28日（金）～29日（土）

12：30より受付

メイン会場：高知農業高校 多目的ホール

学習内容

8月28日（金）小・中学生・高校・高専・大学生集合
12：30～16：00 高知大学生による基調講演
小中学生による事前学習発表会
現地学習会
小・中学生案内人登録証授与・解散
高校生以上宿泊（香北青少年の家）

8月29日（土）高校・高専・大学生集合
9：00～12：00 基調講演・現地学習会・報告会
案内士登録証授与

高知県建設系教育協議会加盟校

安芸桜ヶ丘高等学校 環境建設科
高知農業高等学校 環境土木科
高知工業高等学校全日制 土木科・建築科・総合デザイン科
高知工業高等学校定特別 土木科・建築科
宮毛工業高等学校 建設科
幡多農業高等学校 グリーン環境科
高知工業高等専門学校 建設システム工学科
高知工科大学 社会システム工学科
高知大学 農学部

問い合わせ先 幹事校 高知農業高校 環境土木科 尾崎雅史 TEL088-863-3155 FAX088-863-6209

ホームページ 高知県建設系教育協議会 <http://kochikensetsu.ehoh.net> 事務局 永井博之 TEL:0887-57-2793

香長平野を潤す舟入川の昔と未来の姿を考えてみよう!!

**参加者
募集**



舟入川とは？

物部川合同堰（香美市土佐山田町）より南西に伸びる農業用水路。約350年前に土佐藩執政野中兼山によって作られた。合同堰より流れを分し、香美市から南国市・高知市へと流れる。

■プログラム ※プログラムは変更する場合があります。

集合日時：平成21年8月28日（金）12時30分

集合場所：高知農業高校 多目的ホール

8月28日（金）

- 12：30 集合（高知農業高校）
- 13：00 開会行事
- 13：30 基調講演
- 14：10 小中学生事前学習発表会
- 14：40 舟入川現地学習会
- 15：40 小中学生へ舟入川案内人登録証授与
- 16：00 高校生以上 宿舎へ移動（香北青少年の家）
- 17：00 宿舎到着・夕食・風呂
- 19：00 学習会
- 21：00 学習会終了
- 22：00 消灯・就寝

8月29日（土）

- 6：30 起床
- 7：40 朝食
- 8：20 宿舎出発
- 9：00 高知農業高校到着
- 9：30 二日目開会行事・基調講演
- 10：30 舟入川再見学
- 12：00 高知農業高校へ再集合
- 報告会・案内士の授与・閉会行事
- 13：00 解散

お問い合わせ先

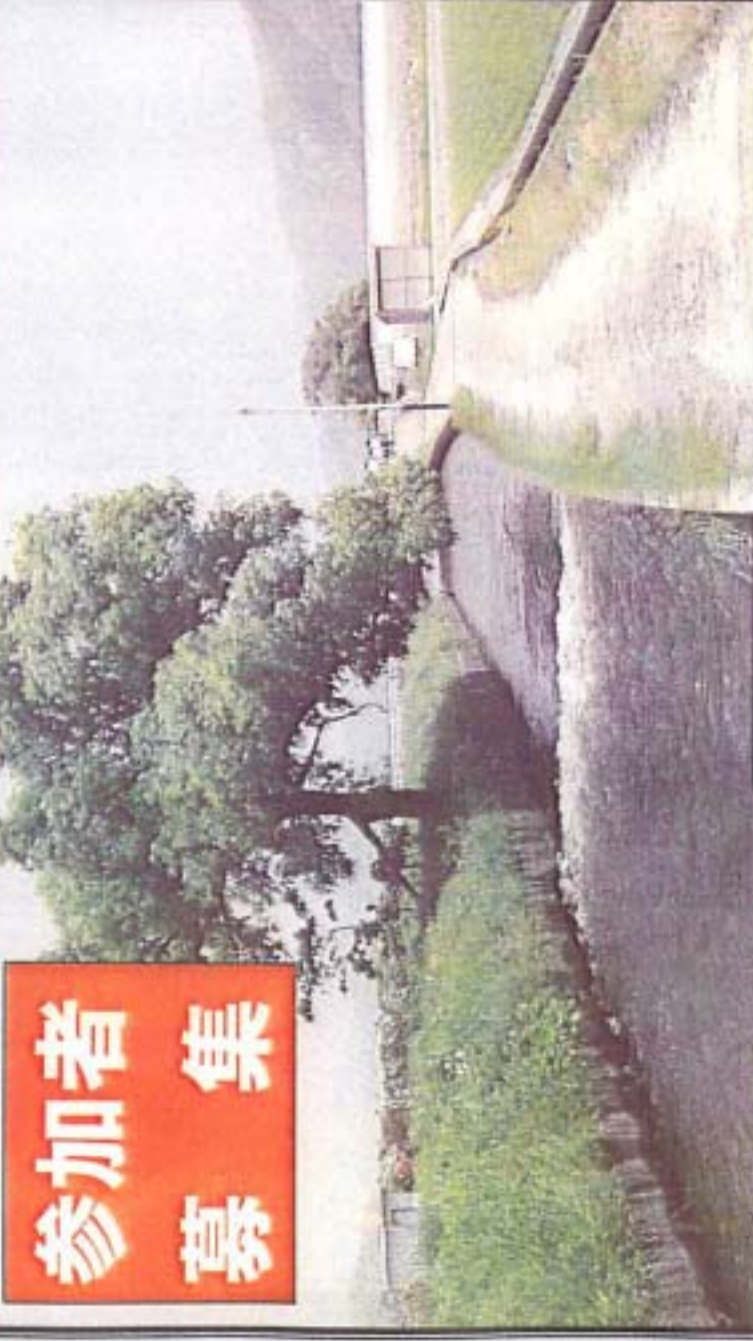
主催 高知県建設系教育協議会 事務局 永井博之 幹事校 高知農業高校 環境土木科 尾崎雅史

TEL0887-57-2793 FAX0887-57-2420

TEL088-863-3155 FAX088-863-6209

小・中学生のみんな！ 高校・高専・大学生と一緒に舟入川の姿を考えてみよう！！

参加者募集



主催 高知県建設系教育協議会

高知県内の建設系専門高校・高専・大学生が工学・農学の分野にとらわれず、縦横に幅広く学習し、連携する機会を設けることで、未来に適用する建設系技術者を育成することを目的としています。

香長平野を悠々と流れる舟入川。

むかしの舟入川ってどんな川だったんだろう。
みらいの舟入川ってどうなっていくんだろう。

わたしたちの生活と深くかかわっている
舟入川について一緒に考えてみよう！

■プログラム ※プログラムは変更する場合があります。

集合日時：平成21年8月28日（金）12時30分

集合場所：高知農業高校 多目的ホール

13：00 開会行事

13：30 基調講演

（舟入川について講演を聞きます）

14：10 小中学生事前学習発表会

14：40 現地学習会

15：40 小中学生へ舟入川案内人登録証授与

16：00 解散

高知県建設系教育協議会 お問い合わせ先

事務局 永井博之 TEL:0887-57-2793

幹事校 高知農業高校 環境土木科 尾崎雅史

TEL:088-863-3155 FAX:088-863-6209

君も舟入川の案内人になれる！！

「舟入川に学ぶ会」8月28日（金）会場案内・申込書FAX用紙

集合時間 12:30 ※参加者は直接会場までお越しください。

会場 高知農業高校多目的ホール

アクセス 住所：南国市東崎957-1 TEL088-863-3155

FAX088-863-6209

■JR 後免駅下車徒歩5分

■電車・バス 後免東町下車徒歩10分

■バス 農業高校通り下車徒歩1分

多目的ホール

正門から進入し、通路をまっすぐ進むと体育館があります。体育館の2階が多目的ホールです。当日は案内版を設置しておりますので、案内どおりお越しください。



※小雨決行予定です。しかし台風等悪天候による中止の場合は高知県建設系教育協議会ホームページにて当日9:00に掲載いたします。

ホームページ <http://kochikensetsu.ehoh.net/>

提出先 高知農業高校 FAX088-863-6209

舟入川に学ぶ会 参加申込書

学 校 名			
申込責任者	氏 名		
	連絡先電話番号	()	-
参加者氏名 (参加 名) 多数の場合は別紙でお願いします。			

大山岬に建つ四阿 「波動」

コンセプト

プロジェクト 土佐の遍路道・四阿コンペの最優秀案を受けて、計画に取り組んだ。計画の前提として次の3つの条件を考慮した。

- ・弓形の構造部材を交互に組み合わせたユニークな内部空間を尊重する
- ・間伐材を中心に規格品の木材を使用する
- ・構造的合理性のある、(隙間のない)屋根を架ける

我々のデザインコンセプトは以下の通りである。

・立体的展開

弓形の構造部材を立体的に展開し、直線材のみで最優秀案と同調する内部空間を成立させる

・海を眺める

海に対して開放的なデザインとすることで、海を眺める視点場としての役割を果たすとともに安心感を与える

・羽ばたく

道路側から形態が海に向かって羽ばたく鳥の羽をイメージさせる

・弓形の構造部材を持つ家具デザイン

波と波を交差させたユニークな形態は家具のデザインに反映する

今後の展開

スケジュール

設計期間 2009年7月~9月

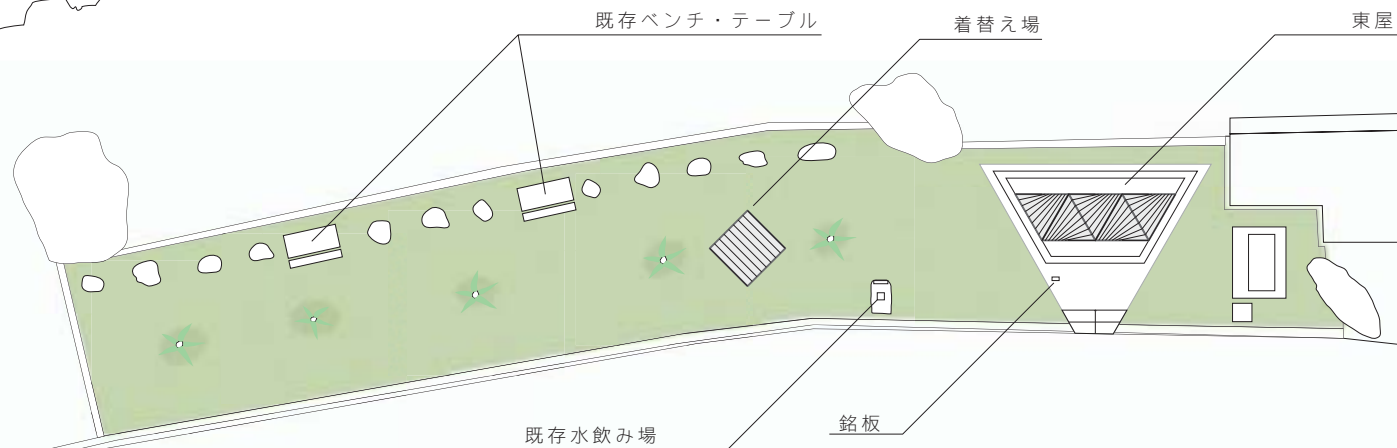
建設準備期間 2009年10月~2010年2月

建設期間 2010年3月~6月

作業分担

・実際の建設に関して、木材の調達/木材の加工/組み立てなどの工程に応じて、協議会参加高校の希望教員と協議しながら進める。

太平洋



至 室戸市

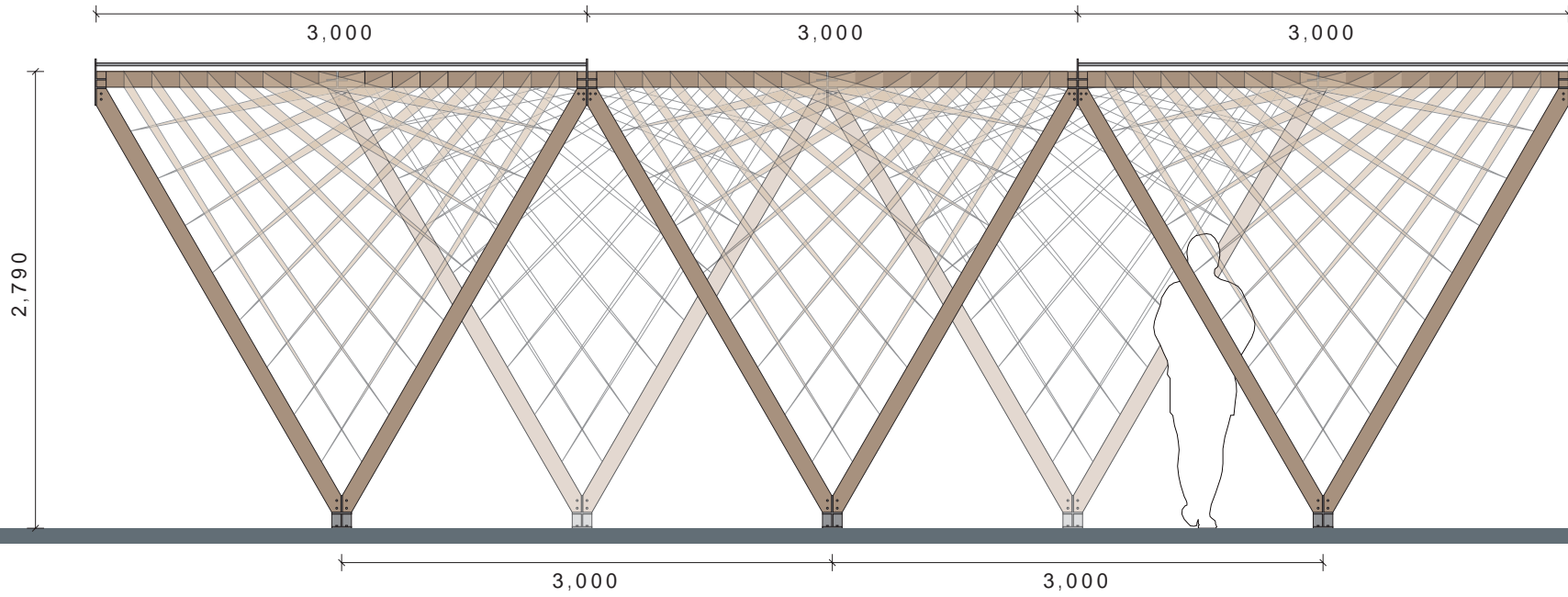
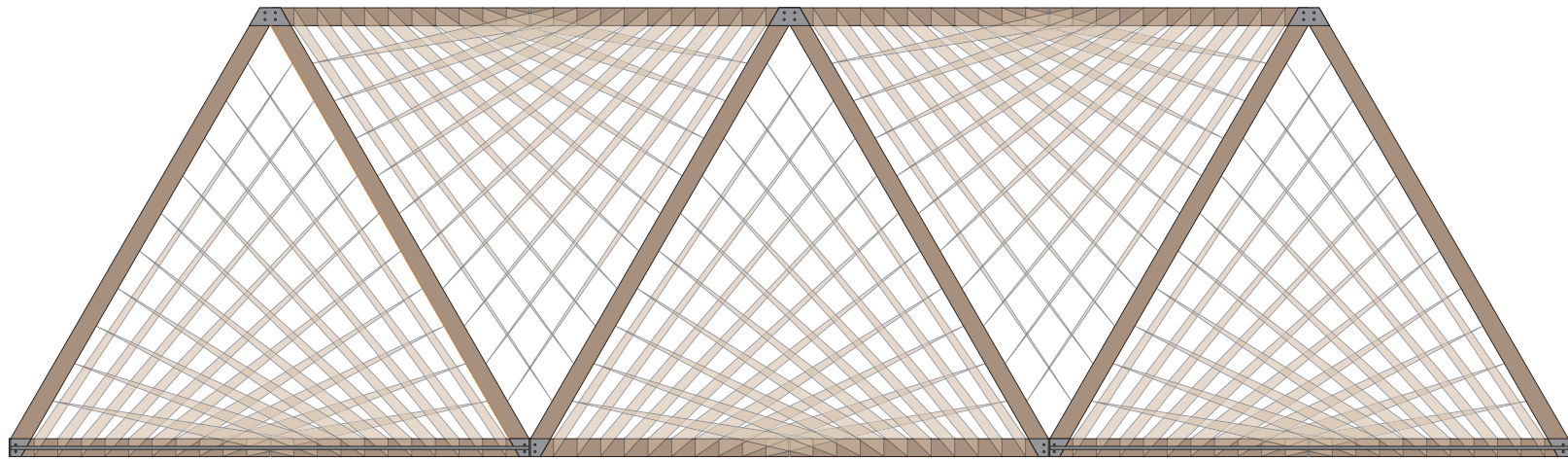
国道55号線

至 高知市

配置図 S=1/300

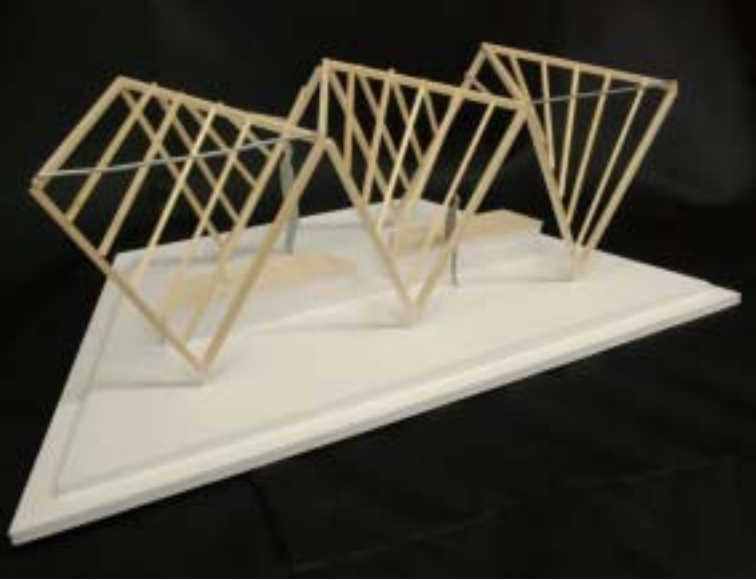
0m 5m 10m 15m 20m





軸組屋根伏図・軸組立面図 S=1/30

模型写真



四阿海側



四阿内部

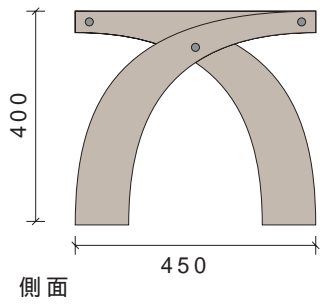


接続部詳細

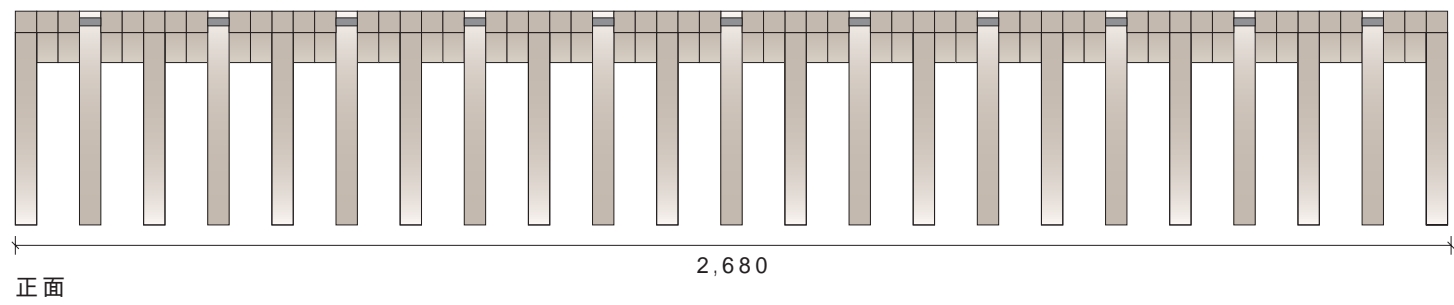


着替え場

ベンチ設計案

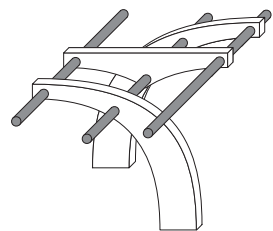


側面



正面

2,680



上面

(安芸市役所起案)

「浜千鳥公園」の整備及び管理に関する協定書

公園管理者安芸市長（以下「甲」という。）と高知安芸ランオンズクラブ会長（以下「乙」という。）と高知県建設系教育協議会長（以下「丙」という。）は、浜千鳥公園（以下「公園」という。）の整備及び管理について、次のとおり協定を締結する。

(目的)

第1条 公園の整備・充実を図るとともに、常に良好な状態を保持し、快適な気持ちで利用して頂くため、基本的事項について協定し、甲、乙、丙が連携して、整備及び管理を行うことを目的とする。

(位置及び範囲)

第2条 公園の位置及び範囲は、別図のとおりとする。

(財産の帰属)

第3条 公園の財産帰属区分は、別図図面の赤色着色部は甲とし、青色着色部は乙とし、緑色着色部は丙とする。

(整備及び管理区分等)

第4条 公園の整備及び管理については次によるものとする。

- (1) 原則として、前条の財産区分により、甲、乙、丙それぞれが整備し、管理運営を行うものとする。ただし、公園全体に影響を及ぼすこととなる整備等については、あらかじめ甲、乙、丙協議のうえ、一元的に整備するものとする。
- (2) 甲に帰属する財産区分のうち、清掃、除草等の簡易な維持管理については、乙が一体的に行うものとする。

(施設等の損傷)

第5条 公園における施設の損傷又は損失を発見したときは、直ちに甲に報告するものとし、甲、乙、丙協議のうえ適切な処置を講ずるものとする。ただし、管理上危険が予想される場合は、緊急応急処理を講じ事後報告するものとする。

(その他)

第6条 本協定に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、その都度、甲、乙、丙協議により決定するものとする。

本協定締結の証として本書3通を作成し、甲、乙、丙記名押印のうえ各自1通を保有するものとする。

平成 年 月 日

甲 公園管理者 安芸市長 松本 憲治

乙 高知安芸ライオンズクラブ 会長 小原 進一

丙 高知県建設系教育協議会 会長 草柳 俊二

● 平成21年度 高校生課題研究支援事業

支援依頼申込受付書

No.	高校名 指導教諭	生徒名	大学名	研究室	課題テーマ	受付 日
1	高知工業 末政先生	伊勢田南 植野裕也 黒瀬裕也	高知工科大	吉田研	「具体的な建築物」デザイン	5/20
2	高知工業 山岡先生	小松由和 岡崎 史 谷脇 仁	高知高専	横井研	(仮) コンクリート甲子園を目標 とした高強度コンクリートの研究 Aチーム	7/9
3	高知工業 山岡先生	森田誠人 矢野裕一郎 山本恭平	高知高専	横井研	(仮) 同Bチーム	7/9
4	高知工業 山岡先生	藤田明久 佐野弘治	高知工科大	永井研	(仮) オリジナル橋の模型製作	7/9
5	高知工業 中居先生	伊澤隆仁 大西達也 細木和樹 山本裕也	高知工科大	高木研	高知桂浜道路(100円トンネル)の 縦断測量～測量方法の比較～	7/9
6	高知工業 上原先生		高知工科大	中田研	(仮) 南海地震対策について	協議 中
7	高知農業 山中先生	岩原伸樹 梅原隆司 西尾真司	高知大	藤原研	(仮) 国分川の水質環境調査	協議 中
8	高知農業 山中先生	西岡遼平 濱田大寛 吉本志穂	高知大	齋 研	(仮) 舟入川の水質調査	協議 中

2008年 課題紹介

各教授の研究内容やテーマを参考に自分のやりたい研究を見つけよう！

名前 菅原 克夫
所属 農学部・生産環境工学科

- 1) 開伐率の異なるヒノキ林における降雨流出特性
植栽されたヒノキ林で、開伐率の異なる林分において、降雨量、表面流出量、そして表層流出土砂量を計測し、降雨による表層流出特性に開伐率が与える影響について検討する。
- 2) 降雨に伴う自然斜面の表層移動
降雨による斜面崩壊発生予防法の高度化のために、降雨に伴う自然斜面土層のせん断変形を観測する。

E-mail: kasahara@hochi-u.ac.jp
TEL/FAX: 089-864-5341

名前 大年 邦雄
所属 農学部・流域環境工学コース

- 1) 海岸付近の地下水を調べる
海岸付近の地下水は潮汐の影響を受けて水位が変化し、海水の混入状態も変化します。観測井戸で地下水位の変化と海水の混入状態を観測する。また、実際に採水した水の化学も調べる。

E-mail: ohtani@hochi-u.ac.jp
TEL: 089-864-5173
FAX: 089-864-5183

名前 紙片 泰典
所属 農学部・流域環境工学コース
研究内容 水資源学



水資源学というのは、主として水の経済的利用を考える分野です。本来は水源開発にかかる開発費用と効果とが合うかどうかとか、どうしたらより効果的に水が利用できるだろうかということを考えるための学問なのですが、どれくらいの水が降ったら、河川にどれくらいの水が流出してくるだろうかとか、降雨の多い少ないが地下水変動とどのような関係があるかとか、ダム湖の対流現象や河川の濁水、草地からの蒸発なども研究しています。

今回は中でも、①海水面変動変動と地下水位変動の関係についての関係を探ること、②埋の補給水深と流量との関係について実験をおこなうことをテーマに選びました。

①は海岸に出掛けて行って、地下水の変動を計測し、海水面の変動とどう関係があるのかないのかを探ります。関係があるということになれば、どのように海から陸に向かって海水が地下水位の変動に影響を及ぼしているかについて、何かわかることができるかも知れないと思っています。

②は実験室で水路に水を流して、種と水が乗り継ぐとき、どれくらい流量のときにどれだけの高さ(補給水深)で継いでいくのかを計って、流量と補給水深との関係を求めてみようと思っています。研究テーマとしては古くからあるものですが、水理実験の授業でとり上げられるような内容なのですが、それでいろいろな流量で実際に計ってみると、気づくことが一杯あるだろうと期待しています。

興味がありましたら自分の学校の先生とご相談の上、ご連絡いただきたいと思います。

連絡先

E-mail: kamikata@hochi-u.ac.jp
TEL: 089-864-5167(直通)

名前 藤原 拓
所属 農学部・流域環境工学コース
研究内容 水環境工学



私は、身近な水環境である河川や地下水の水質汚濁のメカニズムについて定量的な解析を行うとともに、水環境への汚濁物質排出量の抑制のための技術開発を行っており、これらを通じて流域の水環境保全に役立ちたいと考えています。

現在行っている研究は、排水の高度浄化技術の開発、廃棄物処分場における有害物質の生成・分解メカニズムの解明、硝化性窒素による地下水汚染の機構解明および自浄作用の評価に関する研究、農地からの地球温暖化ガスの排出量の評価、山地河川からの汚濁負荷の流出に関する研究などです。以下に、一部の研究の概要を紹介します。

排水の高度浄化技術の開発

二十一世紀の下水道には、処理の高度化、資源・エネルギーの回収、省エネルギー・省スペース、汚泥発生量の低減など様々な機能が求められており、今後下水道の普及を進めるべき中小市町村では、高度処理が可能な小規模排水処理プロセスが必要で、この研究では、高度処理、省エネルギー、省スペースを同時に実現可能な、微生物による処理プロセスの開発を目指しています。下水処理場に設置した実験プラントでの結果より、通常小規模排水処理場で採用されるプロセスの半分から四分の一のスペースで、流入下水中の有機物・窒素のそれぞれ約90%が安定して除去されています。今後はリン除去も含めたプロセスの開発を行っていきます。

硝化性窒素による地下水汚染の機構解明および自浄作用の評価に関する研究
畑地へ過剰に施用された肥料が硝化性窒素による地下水汚染の原因になることが広く知られています。この研究では、現地調査や実験に基づき、地下水汚染のメカニズムの解明および地中での自浄作用の評価に関する研究を進めています。今までの研究より、施設園芸ハウスにおける排水は地下水水質に対して大きな影響があること、養分と微生物作用によって汚染された地下水は自然に浄化され、その浄化作用の大きさは場所により異なることなどがわかってきました。今後は、土壌中の自浄作用を適切に評価し、その作用の強化・制御を基礎とする汚染対策技術を開発したいと考えています。

連絡先

E-mail: fujiwara@hochi-u.ac.jp
TEL: 089-864-5163(直通)

高松工科大学 C棟 451号室(平成21年4月より)
高松県建設系教育協議会事務局
Mail: naga@hosei-hochi-tech.ac.jp
Tel: 0887-57-2793
Fax: 0887-57-2420

高知県建設系教育協議会

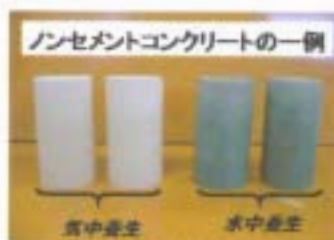
にうちけん けんせつけい きょういく きょうがかい。【Web】

- ・ [ホームへ](#)
- ・ [イベント・コンペ・活動情報](#)
- ・ [役員名加賀社一覧](#)
- ・ [【Web】とは?](#)

高知工業高等専門学校 研究・教員紹介

2008年 課題中心

各教員の研究内容やテーマを参考に自分のやりたい研究を見つけよう!



橋井克則研究室
所 属 建設システム工学科
研究内容 コンクリート工学

コンクリート研究室では、次のようなコンクリートの開発を目指しています。

高校生向けテーマ

- 1)セメントを使わずに固まるコンクリートの開発
- 2)廃棄資源を有効利用するコンクリートの開発
- 3)生物にやさしく対応するコンクリートの開発

連絡先: [HP](#)



寺田研究室
所 属 建設システム工学科

左の写真は、室戸岬沖に設置予定のGPS波高・津波・潮位計です。
この津波計の開発の技術課題、社会的貢献などを学ぶことを通じて、津波防災における方向性をまとめてみよう。

高校生向けテーマ

- 1)津波防災

連絡先: [HP](#)



西岡雄雄・建築デザイン研究室
所 属 建設システム工学科
研究内容 建築デザイン

身近な町並みの特徴を学び

安芸市や四万十市は小京都とも呼ばれ、風情ある町並みが残っています。その町並みを形成する特徴を探し出し、先人の知恵を学び、私たちの街をもっともっと好きになりましょう。

高校生向けテーマ

- 1)町並みを形成する特徴を探し出す

連絡先: [HP](#)

高知工科大学 C棟 401号室(平成21年4月より)

高知県建設系教育協議会事務局

E-mail: csag.khsyok@hcc-tech.ac.jp

Tel: 0887-57-2793

Fax: 0887-57-2430

高知県建設系教育協議会

(にうちけん けんせつけい きょういく きょうぎかい) = 『会』

- ホームへ
- イベント・コンペ・課題情報
- 役員名及関係一覧
- 『会』とは？

高知工科大学 研究・教員紹介

2008年 課題中心

各教授の研究内容やテーマを参考に自分のやりたい研究を見つけよう！

名前 中野 慎介
所属 社会システム工学科
研究内容 鉄筋コンクリート構造
木構造
耐震構造



皆さんこんにちは。建築の構造関係に基礎も構築もやっております。

これからの建築構造技術者は大きく変化し、地位が大層に高くなるとうしております。昔のように何でも建築物を設計して、造ればよいというばかりでなく、造ったものがどの程度の地震でどのくらい被害に与えるかということも表現できるような設計法になります。今使っている内容は、免震構造建築物の設計法、学校建築が地震でなるべく安い方法で破壊させない方法、地震時の高知市の地震防災対策などです。

高校生向け研究テーマ

- 1) 地震の大きさを感知し、数字で表せる装置の作成
- 2) 中学の理科レベルの積み重ねで作る免震装置の構築
- 3) 耐震建築物の設計

連絡先: nakata.shinsuke@kochi-tech.ac.jp

名前 島 弘
所属 社会システム工学科
研究内容 コンクリート工学



こんにちは。高知工科大学社会システム工学科、コンクリート研究室の島です。

コンクリートは、建築材料として最も多く使われており、私たちが生活するのになくてはならないものです。

住居やビルをはじめとして、道路、橋、堤防、港、空港といった社会を支える施設に使われています。しかし、コンクリートも万能ではありません。地震で壊れたり、材料が劣化したりしています。

なぜでしょうか。昔から使われているコンクリートもまだまだ分からないことが多いからです。

私は、丈夫で長持ちするコンクリート構造物を出るだけ安く作るための設計方法を研究しています。

良い設計とするためには、セメントの固まり方から始めて、コンクリートの流れ方、鉄筋の配置方法、地震が来たときの揺れ方、取り壊し方法とリサイクルなど多岐にわたる事項を知らなければなりません。これらのひとつひとつのことが、「安全で、お金がかからず、心地よく暮らしてゆける社会をつくる」ための基となります。コンクリート研究室では、「丈夫で長持ちするコンクリート構造物を出るだけ安く作るために」をモットーとして、学生が興味ある研究課題を選び、実験をし、結果を学会等で発表しています。物を通じて学びの好きな人は、実験をして、コンクリートの技術を身に付けていきましょう。

高知工科大学社会システム工学科のコンクリート研究室は、高知県建設系教育協議会のプログラムとして以下のテーマの研究と一緒にやってみたいと思う高校生の方を待っています。興味のある方は自分の学校の高知県建設系教育協議会担当の先生と相談して連絡を下さい。

高校生向け研究テーマ

- 1) 高強度コンクリートの作り方
- 2) コンクリート断面のデザインと耐久性
- 3) ひび割れないコンクリート

連絡先: shima.hiroshi@kochi-tech.ac.jp
HP: <http://www.infra.kochi-tech.ac.jp/shima/>

名前 草野 俊二
所属 社会システム工学科
研究内容 国際建設マネジメント



こんにちは。高知工科大学社会システム工学科、建設マネジメント研究室の草野です。

「建設」とは、住居やビルをはじめとして、道路、橋、堤防、港、空港といった社会を支える施設をつくり、守ってゆく仕事です。つまり、「人々が生きてゆくために必要な施設をつくり、維持する仕事」といってよいでしょう。日本の社会は、今後、少子・高齢化、高度情報化、そして国際化といった変化する事象のない大きな波のよって急速に変化していきます。若くは日本の若者はこういった社会変化の中で生きてゆくか悩まなければなりません。

建設マネジメントは、日本の社会がどのような変化してゆくのかを知り、人々が生きてゆくために必要な施設をつくり、維持するためにどのような方法が必要かを提案して行きます。この研究室の目的は「安全で、お金がかからず、心地よく暮らしてゆける社会をつくりゆくこと」といってよいでしょう。建設マネジメント研究室では、「社会に役立つ」という言葉を旗に掲げて、学生が自分自身で研究課題を見つけ、問題を分析し、解決策を見出してゆきます。建設マネジメントに正解はありません。若くは若くした方法が答えなのです。問題をしっかりと受け止め、建設技術者が果たすべき「使命と役割」について考え、国際社会で生きてゆく技術者となるためのマネジメント技術を開発していきましょう。

高知工科大学社会システム工学科の建設マネジメント研究室は、高知県建設系教育協議会のプログラムとして以下のテーマの研究と一緒にやってみたいと思う高校生の方を待っています。興味のある方は自分の学校の高知県建設系教育協議会担当の先生と相談して連絡を下さい。

高校生向け研究テーマ

- 1) *
- 2) *
- 3) *

連絡先: kusayanagi.shunji@kochi-tech.ac.jp

名前 藤澤 伸史
所属 社会システム工学科
研究内容 鋼構造・風工学



高知工科大学社会システム工学科、構造研究室の藤澤です。

構造物や設計し、建設する場合の基本的な考え方は、今も昔も変わりません。安全で美しいものを、できるだけ安く、効率的に作るのが基本です。しかし、その具体的な内容は、社会的背景や技術レベルなどの変化とともに、少しずつ変わってきています。

私は、長い間、長大橋の風による振動を抑制してきました。皆さんも想像がつくかと思いますが、この技術は瀬戸大橋や明石海峡大橋を実現するのに必要不可欠な技術だったのです。長大橋プロジェクトは一段落しましたが、この分野の研究者が少ないこともあって、現在でも風による構造物の振動問題は完全には解決していません。西国に数台しかない風洞という設備を活用した構造物の耐風性の研究は、構造研究室の特色のひとつです。

新しく建設する構造物の数は減少していますが、代わりに構造分野の研究として重要になってきているのが、既存の構造物をどうやって長持ちさせるか、劣化した構造物は本当に安全なのかという問題です。西国内で国土交通省が管理している国道の橋は約1600橋ありますが、その95%は高度成長期に建設された橋で、建設後、既に30～50年経っています。これらの橋を点検した結果、ほとんどの橋で何らかの損傷が見られましたが、全ての橋を完全に補修するだけの十分な予算がありません。損傷がどのような被害につながるか、放置しておいた場合、10年後、20年後にはどうなるか予想されるかなど、従来の構造の研究とは違った観点からの研究が必要になっていきます。

このような観点から、鋼構造物の劣化に関する研究が構造研究室のもうひとつの特色になりつつあります。

構造に関する研究というと無機質なものを連想するかもしれませんが、社会が必要とする構造物を建設し、維持管理するのに必要な技術という意味では、ユーザーのニーズに敏感であることが一番大事なのです。

構造も面白そうと思う方は自分の学校の高知県建設系教育協議会担当の先生と相談して連絡を下さい。

高校生向け研究テーマ

- 1) *

2)*****
3)*****

連絡先: [tjima.nobumitsu@kochi-tech.ac.jp](mailto:tajima.nobumitsu@kochi-tech.ac.jp)

名前 大谷 英人
所属 社会システム工学科
研究内容 まちづくり計画



こんにちは、高知工科大学社会システム工学科、計画研究室の大谷です。
私は、『まちづくり計画学(都市及び農山漁村計画、居住環境整備計画、建築物の企画・計画等)』を専攻しています。
『まちづくりの計画』とは、単に物的な“もの”を造るのではなく、“もの”の中で、“どのような暮らしがあるのか”『どういう暮らしをつくるのか』を考えることであり、そして、『まちづくり』とは、そこに住んでいる人びとが自分自身の問題として『まち』に関わり、自分たちの手で未来に向けて、ハードだけではなくソフトを念頭に『まち』(環境)を『つくってゆく』とするアクション(行為)であるといえます。
しかし、『まちづくり』への住民の参加が叫ばれてから、久しく、かつ、『まちづくりの主体は住民である』という一般的な考え方に、誰も異議を言わぬ人はいませんが、本館に住民が主体となって物事が決められている事例は、残念ながら日本では極めて少なく、むしろ、計画・事業が『突然』降ってわいたり、突然に押しつけられたりしが現状です。市民参加は、社会的意義ですが、日本の場合、アメリカやイギリス、ドイツなど住民参加が進んでいる諸国と比較して、住民参加手続きが法律上極めて限定的な範囲にとどまっていること、日本の行政は住民参加の経験の蓄積の機会が非常に少なく、住民参加を成功に導く様々な方法や技術の開発がなおざりにされてきたことにあります。
そこで、私の研究室では、『まちづくりワークショップ(まちワク)』と呼ばれる方法で『まちづくり』における市民参加を進めています。この手法は、『まち』に住む人々が、自分たちの環境をより良くし、新しい環境をつくるために、皆で知恵を絞って考える方法です。この『まちワク』は、誰でも、プログラムに使い道具を使いながら、自分の

住む身近な環境への提案をまとめることができます。また、この方法は、住民がグループで討議したり、作業したりしながら『ゲーム感覚』で『まちづくりマインド』を育てていくものです。
今後、『住民参加のまちづくり』の充実のためには、これらの方法の実践と、その習熟を図っていく必要があります。

高知工科大学工学部社会システム工学科の計画研究室は、高知県建設系教育協議会のプログラムとして以下のテーマの研究を一緒にやってみたいと思う高知生の方々を持っています。興味のある方は自分の学校の高知県建設系教育協議会担当の先生と相談して連絡を下さい。

高知生向け研究テーマ

- 1) 子供たちを対象とした豊穡計画づくりワークショップの計画と実践
- 2) 高知市市町屋等の中心商店街の再開発による活性化の計画と実践
- 3) 高知県における歴史的町並みの保全・整備に関する調査・計画

連絡先: otakajin@kochi-tech.ac.jp
HP: <http://www.info.kochi-tech.ac.jp/otaki/>



名前 吉野 晋
所属 社会システム工学科
研究内容 建築デザイン

こんにちは、高知工科大学社会システム工学科、建築デザイン研究室の吉野です。“建築デザイン研究室”では、真小屋から高層ビルまでといった建築の設計を中心に、日常生活に関連する様々なもののデザインあるいはデザインの仕組みについて考える研究室です。
建築をデザインすることは物理的にも知的にも楽しいエキサイティングなゲームのようなもの(良い意味での)です。建築をデザインするとは、単に形、色、材、のカタチを決めるといふ行為に

留まりません。まず、どのような雰囲気を作りたいのか？その部屋の空気は？明るさの状況は？などその場所に関する性質を考慮する必要があります。もしかすると何も作らないことがベストな選択かもしれません。新しい言葉かもしれませんが、抽象的な意味でデザインするという事です。本当にこの部屋は必要か？この要求を満たす為にこの部屋で十分か？などデザインする対象そのものについて考えるということ。そして、その場所に関する性質を具現化するために具体的なデザインがあるのです。これはモノのカタチと大きさや位置と材料を決めるということ。様々なものを考えることが可能ですがその最もよい組み合わせを算出、決定していくのです。
建築デザインを学ぶ上で高校時代に重要なことは、まず、具体的なデザインができる技術を手につけることです。次に抽象的なデザインを構想できる想像力をトレーニングすること。ただ、抽象的なデザインについて考えすぎると『絵に描いた餅』を考へることになりがちです。常に具体的なデザインに戻る前提で抽象的なデザインを考える必要があります。
高知工科大学社会システム工学科の建築デザイン研究室は具体的なデザインばかりでなく、抽象的なデザイン、本質的な意味での『住宅とは何か？』『カフェとは何か？』あるいは『都市空間とは何か？』について考えてみたい、あるいは『自分たちの世代に合った新しい住宅とは何か？』『カフェとは何か？』について考えたいという高知生の若たちを持っています。
興味のある方は自分の学校の高知県建設系教育協議会担当の先生と相談して連絡を下さい。

- 高知生向け研究テーマ
- 1) 建築の設計に関すること
 - 2) 具体的な建築物、風景のデザイン
 - 3) 古い建物や家具のコンバージョン、リニューアル

連絡先: yoshida.koji@kochi-tech.ac.jp
HP: http://www.info.kochi-tech.ac.jp/2012/yoshida_lab/wwwsite_top.html

名前 高木 方樹
所属 社会システム工学科
研究内容 国土情報地理工学



リモートセンシングと地理情報システムの利用について研究しています。リモートセンシングは人工衛星を代表とするプラットフォームから地球上の様々なデータを取得する技術であり、地理情報システムはリモートセンシングによって得られたデータだけでなく、自然環境・社会基盤施設・各種統計等の位置情報を含むデータの処理技術です。これらの技術は、社会基盤工学において有効に活用できると期待されます。地価データの生成と活用手法、自然環境の評価手法、柔軟な位置の表現手法などをメインの研究テーマとしています。
大学の授業では、測量・プログラミング・土質工学等を教えています。したがって、測量に関することであれば、高知生の皆さんにアドバイスできます。
高知工科大学工学部社会システム工学科の計画研究室は、高知県建設系教育協議会のプログラムとして以下のテーマの研究を一緒にやってみたいと思う高知生の方々を持っています。興味のある方は自分の学校の高知県建設系教育協議会担当の先生と相談して連絡を下さい。

- 高知生向け研究テーマ
- 1) 測量エンジニアで優秀な成果を修める
 - 2) GPSとトータルステーションの融合評価

連絡先: takagi.naotaka@kochi-tech.ac.jp
HP: <http://www.info.kochi-tech.ac.jp/takagi/>



名 前 山田 隆一郎
所 属 社会システム工学科
研究内容 景観デザイン

こんにちは。高知工科大学社会システム工学科、景観デザイン研究室の山田です。
みなさんは道路や公園、川、海などにも設計やデザイン(景観設計)というものがあることを知らない人もあるかもしれませんが、建築物と同様に建築物以外の屋外の施設も、ある形を作るためには設計という作業があり、より美しい風景を作るための技術やマナーがあります。このような作業を景観デザインと呼んでいます。建築物と同様に、風景もデザインの対象なのです。

人々が心豊かに生活していくためには、風景の美しさ、生活する場所の居心地の良さ、身の周りの施設の使いやすさなどは非常に重要ですが、しかし、そのような質の高い生活空間は、一人のデザイナーの意欲で実現できるものではなく、まちづくりに関わる全ての技術者と、その時の人々によって育まれるものです。まちづくりは、一人の作業ではなく全員の仕事であり、それぞれが風景に質を高めることによってしか、美しい風景は生まれないのです。

高知工科大学社会システム工学科の景観デザイン研究室は、高知県建設系教育協議会のプログラムとして以下のテーマの研究を一緒にやってみようという高知生の方々を待っています。興味のある方は自分の学校の高知県建設系教育協議会担当の先生と相談して連絡を下さい。

高知生向け研究テーマ
1)景観デザイン

連絡先: shigeyama.yochiro@kochi-tech.ac.jp
HP: <http://www.infra.kochi-tech.ac.jp/shige/>



名 前 永井 博之
所 属 社会システム工学科
研究内容 鋼構造・コンクリート構造

こんにちは。私は、高知工業士大(昭和32年)卒の教員です。
土木の世界に身を置いて50年が過ぎました。全国で約500件の構造物に関する調査・設計・監理を、高知工科大学では導入教育のスタディ・スキルを担当し学生の人間力

アップをお手伝いしました。

ライフワークとして橋の景観について研究しています。橋梁は、重要な社会資本整備の一つです。橋の用途による分類は、道路橋・鉄道橋・歩道橋・水運橋・陸運橋・架道橋・船橋・可動橋・応急橋(仮橋)等色々あります。

身近な近所の橋・高知県の橋について、気に入った橋・好きな橋等について、調べたりたり・スケッチをしたり・写真を取ったり・自分の意見をコメントしたりしてみませんか？

高知生向け研究テーマ

1)美しい橋2)構造的に面白い橋3)色彩的に印象が強い橋4)存在感の強い橋5)小さくとも地域のシンボルとなっている橋6)景観を阻害している橋7)高橋・懸柱・橋名板・歩道・照明等、橋面空間の気に入った橋8)名前の面白い橋9)出会いと別れの橋10)古い橋・新しい橋

連絡先: nagai@nagai@kochi-tech.ac.jp
TEL: 0887-57-2500(直通)
FAX: 0887-57-2420

高知工科大学 C棟 431号室(平成21年4月より)
高知県建設系教育協議会事務局
Mail: nagai@nagai@kochi-tech.ac.jp
Tel: 0887-57-2790
Fax: 0887-57-2420

第四回 測量コンテスト IN 高知工科大学

2009年9月27日12時スタート!

主催：高知工科大学 共催：高知建設系教育協議会

後援予定：国土交通省四国地方整備局，国土地理院四国地方測量部，(社)日本測量協会四国支部ほか

今回は難度がアップします。

測量ターゲットとして、直径20cmの黒色円形標識を設置しますが、中心を示すマークはありません。

工夫を凝らしてターゲットの中心を見極めて下さい。

参加資格

- ・プロ・アマを問わず、どなたでも参加できます。
- ・1チーム3人です。
- ・事前に申し込んで下さい。

審査部門

- ・自作機器部門
 - ・ホームセンター等で調達できるものを組み合わせて測る部門です。
 - ・工夫やアイデアの配点が高い審査を行います。
- ・精密機器部門
 - ・測量機器等を用いて測る部門です。測角精度6'未満の機器は精密機器とします。
 - ・測量精度を競います。



Open Campus と同時開催

測量コンテスト事務局

高知県香美市土佐山田町

高知工科大学 社会システム工学科 担当：高木方隆

TEL:0887-53-1040

FAX:0887-57-2420

詳細及び申込書は、ホームページよりダウンロードして下さい
<http://www.infra.kochi-tech.ac.jp/takagi/SurveyContest>



申し込み締め切りは、9月18日!



精密機器部門の測量風景
緻密さが要求されます。



自作機器部門の測量風景
大きな三角形を作ることが秘訣です。



内業の様子
入力ミスが命取りに...

● 平成22年度 「学ぶ会（第5回）」

<協議事項>

幹事校：高知工業高校（全日制、定時制）

開催月：8月上旬 又は 10月下旬

開催曜日：金・土 又は 土・日

学習テーマ（過去の実績）・・・地域の建設遺産に学ぶ

第1回 高知城を学ぶ会（高知工業 全日制・定時制）

第2回 四万十川に学ぶ会（宿毛工業・幡多農業）

第3回 吉良川の町並みを学ぶ会（安芸桜ヶ丘）

第4回 舟入川を学ぶ会（高知農業）

第5回 ? （高知工業）

学習方法：小中学生の迎え方（初日に迎える、2日目に迎える）

小中学生の送迎：現地集合（保護者マイカー）、送迎バス・相乗タクシー確保

公営交通の利用

懸案事項：小中学生の参加者確保、保護者への対応（生徒・児童の）

上記等の項目につき幹事校が提案し、常任幹事会にて協議

会則の改廃・任期中の役員変更

改廃の変更（審議）

第5条「会員の種類」に「名誉会員」を追加・・・事務局の要望

第5条 本会の会員は次の3種とする。（2種から3種へ変更）

- 1) 正会員、高知県内に設置されている高等学校の建設系学科・コース、工業高等専門学校、大学に関係する現職の教職員にて、入会は学校または学科・コース単位とする。
- 2) 賛助会員 理事会の決議によって推薦したもの。
- 3) 名誉会員 本協議会に対して多大な貢献があった正会員の内、正副会長によって推薦されたもの。（太字を追加）

以上の改廃提案をいたします。

任期中の役員変更（4月1日付け...報告）

高知工科大学

理事：中田 慎介 藤澤 伸光

高知高専

理事：山崎慎一 岡林宏二郎
常任幹事：西岡建雄 岡田将治

高知工業（全日制）

土木科理事：武田周作 上原 健
建築科理事：小黒輝雄 松本達也
総合デザイン科理事：中村彰祐 山本里花

高知工業(定時制)

土木科理事：小松博英 今津敏文

安芸桜ヶ丘

環境建設科理事：岩貞吉祐・河内邦光 河内邦光

宿毛工業

建設科理事：池川隆博・上村正博 谷田俊宏

会計幹事

高知工業 清岡 純 安芸桜ヶ丘 中村文香

会計監査

高知工業高校定時制 金子正雄 須崎工業高校 金子正雄
安芸桜ヶ丘 山崎盛行 高知工業 清岡 純

高知県建設系教育協議会 役員

	加盟校	学科・専攻	氏名
会長	高知工科大学	システム工学群 建築・都市デザイン専攻	草柳 俊二
副会長	高知県立高知工業高等学校	校長	平田 健一
"	高知工業高等専門学校	環境都市デザイン工学科	寺田 幸博
"	高知大学	農学部学部長	篠 和夫
理事	高知工科大学	システム工学群 建築・都市デザイン専攻	藤澤 伸光
"	高知大学	農学部・流域環境工学コース	大年 邦雄
"	高知工業高等専門学校	環境都市デザイン工学科	岡林 宏二郎
"	安芸桜ヶ丘高等学校	環境建設科	河内 邦光
"	高知農業高等学校	環境土木科	渡邊 耕司
"	高知工業高等学校	土木科	上原 健
"	"	建築科	松本 達也
"	"	総合デザイン科	山本 里花
"	"	定時制土木科	今津 敏文
"	宿毛工業高等学校	建設科	谷田 俊宏
"	幡多農業高等学校	グリーン環境科	上田 優
常任幹事	高知工業高等学校	土木科	山岡 稔幸
"	安芸桜ヶ丘高等学校	環境建設科	谷口 晴夫
"	高知農業高等学校	環境土木科	尾崎 雅史
"	高知工業高等専門学校	環境都市デザイン工学科	岡田 将治
"	高知大学	農学部・流域環境工学コース	紙井 泰典
常任幹事 兼事務局長	高知工科大学	高知社会基盤システム研究センター	永井 博之
会計幹事	安芸桜ヶ丘高等学校	環境建設科	中村 文香
会計監査	高知工業高等学校	土木科	清岡 純
"	須崎工業高等学校	ユニバーサルデザイン科	金子 正雄
顧問	国土交通省	四国地方整備局・局長	木村 昌司
"	"	土佐国道事務所・所長	荻野 宏之
"	"	高知河川国道事務所・所長	三戸 雅文
"	"	中村河川国道事務所・所長	後藤 茂久
"	"	高知港湾・空港整備事務所・所長	北原 政宏

高知県 建設系教育協議会 会員名簿 高等学校

	学校名	学科 専攻名	氏名	メールアドレス
1	高知県立安芸桜ヶ丘高等学校	環境建設科 土木専攻	河内 邦光	kunimitsu.kawauchi@kt4.kochinet.ed.jp
2	高知県立安芸桜ヶ丘高等学校	環境建設科 土木専攻	山崎 盛行	seiko.yamasaki@kt5.kochinet.ed.jp
3	高知県立安芸桜ヶ丘高等学校	環境建設科 土木専攻	中村 文香	fumika.nakamura@kt2.kochinet.ed.jp
4	高知県立安芸桜ヶ丘高等学校	環境建設科 土木専攻	中居 薫	kaoru.nakai@kt5.kochinet.ed.jp
5	高知県立安芸桜ヶ丘高等学校	環境建設科 建築専攻	岩貞 吉祐	
6	高知県立安芸桜ヶ丘高等学校	環境建設科 建築専攻	高橋 玲子	reiko.takahashi@kt3.kochinet.ed.jp
7	高知県立安芸桜ヶ丘高等学校	環境建設科 建築専攻	谷口 晴夫	haruo.taniguchi@kt2.kochinet.ed.jp
8	高知県立安芸桜ヶ丘高等学校	環境建設科 建築専攻	武内 慎司	shinji.takeuchi@kt3.kochinet.ed.jp
9	高知県立高知農業高等学校	環境土木科	尾崎 雅史	masashi.osaki@kt2.kochinet.ed.jp
10	高知県立高知農業高等学校	環境土木科	渡邊 耕司	koshi.watanabe@kt5.kochinet.ed.jp
11	高知県立高知農業高等学校	環境土木科	青木 宏仁	
12	高知県立高知農業高等学校	環境土木科	宮下 義人	yoshito.miyasita@kt3.kochinet.ed.jp
13	高知県立高知農業高等学校	環境土木科	松岡 秀和	
14	高知県立高知農業高等学校	環境土木科	山中 庸平	
15	高知県立高知工業高等学校 全日	土木科	山岡 稔幸	toshiyuki.yamaoka@kt4.kochinet.ed.jp
16	高知県立高知工業高等学校 全日	土木科	清岡 純	jiyun.kiyooka@kt3.kochinet.ed.jp
17	高知県立高知工業高等学校 全日	土木科	関田 保彦	yasuhiko.sekida@kt4.kochinet.ed.jp
18	高知県立高知工業高等学校 全日	土木科	中居 猛典	takenori.nakai@kt5.kochinet.ed.jp
19	高知県立高知工業高等学校 全日	土木科	上原 健	takeshi.uehara@kt4.kochinet.ed.jp
20	高知県立高知工業高等学校 全日	土木科	松田 哲典	tetsunori.matsuda@kt3.kochinet.ed.jp
21	高知県立高知工業高等学校 全日	建築科	小黒 輝雄	teruo.oguro@kt4.kochinet.ed.jp
22	高知県立高知工業高等学校 全日	建築科	松本 達也	tatsuya.matsumoto@kt4.kochinet.ed.jp
23	高知県立高知工業高等学校 全日	建築科	中谷 由佳	yuka.nakatani@kt2.kochinet.ed.jp
24	高知県立高知工業高等学校 全日	建築科	大和田 賀仁	yoshihito.oowada@kt4.kochinet.ed.jp
26	高知県立高知工業高等学校 全日	建築科	末政 綾水	
27	高知県立高知工業高等学校 全日	建築科	澤田 浩志	
28	高知県立高知工業高等学校 全日	建築科	植村 優	
28	高知県立高知工業高等学校 全日	建築科	竹村 順二	
29	高知県立高知工業高等学校 全日	インテリア科	中村 彰祐	shiyosuke.nakamura@kt2.kochinet.ed.jp
30	高知県立高知工業高等学校 全日	インテリア科	大野 良一	ryoichi.ono@kt2.kochinet.ed.jp
31	高知県立高知工業高等学校 全日	インテリア科	山本 里花	rika.yamamoto@kt3.kochinet.ed.jp
32	高知県立高知工業高等学校 全日	インテリア科	山本 浩司	koji.yamamoto@kt4.kochinet.ed.jp
33	高知県立高知工業高等学校 全日	インテリア科	前田 正志	
34	高知県立高知工業高等学校 全日	インテリア科	黒岩 ふみか	fumika.yamanaka@kt4.kochinet.ed.jp
35	高知県立高知工業高等学校 定時	土木科	小松 博英	hirohide.komatsu@kt5.kochinet.ed.jp
36	高知県立高知工業高等学校 定時	土木科	今津 敏文	toshifumi.imazu@kt3.kochinet.ed.jp
37	高知県立高知工業高等学校 定時	土木科	山崎 竜司	riyuji.yamasaki@kt5.kochinet.ed.jp
38	高知県立高知工業高等学校 定時	土木科	武田 周作	syuusaku.takeda@kt4.kochinet.ed.jp
	高知県立須崎工業高等学校	ユニバーサルデザイン	金子 正雄	masao.kaneko@kt3.kochinet.ed.jp
39	高知県立宿毛工業高等学校	建設科 土木専攻	池川 隆博	takahiro.ikegawa@kt3.kochinet.ed.jp
40	高知県立宿毛工業高等学校	建設科 土木専攻	池内 孝栄	takayoshi.ikeuchi@kt3.kochinet.ed.jp
41	高知県立宿毛工業高等学校	建設科 土木専攻	池内 正法	masanori.ikeuchi@kt3.kochinet.ed.jp
42	高知県立宿毛工業高等学校	建設科 土木専攻	中平 雄一	yuuichi.nakahira@kt4.kochinet.ed.jp
43	高知県立宿毛工業高等学校	建設科 土木専攻	久武 功典	kosuke.hisatake@kt2.kochinet.ed.jp
44	高知県立宿毛工業高等学校	建設科 建築専攻	上村 正博	masahiro.kamimura@kt5.kochinet.ed.jp
45	高知県立宿毛工業高等学校	建設科 建築専攻	下山 英一	eiichi.shimoyama@kt4.kochinet.ed.jp
46	高知県立宿毛工業高等学校	建設科 建築専攻	谷田 俊宏	toshihiro.tanida@kt2.kochinet.ed.jp
47	高知県立宿毛工業高等学校	建設科 建築専攻	吉岡 利泰	to_sh.yasu.yoshioka@kt4.kochinet.ed.jp
48	高知県立幡多農業高等学校	グリーン環境科	上田 優	tamaki.uea@kt4.kochinet.ed.jp
49	高知県立幡多農業高等学校	グリーン環境科	水田 直樹	naoki.mizuta@kt2.kochinet.ed.jp
50	高知県立幡多農業高等学校	グリーン環境科	川路 恭太	
51	高知県立幡多農業高等学校	グリーン環境科	山中 洋平	youhei.yamanaka@kt3.kochinet.ed.jp

学校名

高知県立安芸桜ヶ丘高等学
高知県立高知農業高等学校
高知県立高知工業高等学校
高知県立宿毛工業高等学校
高知県立幡多農業高等学校

学校電話番号

0887-35-2020
088-863-3155
088-834-9171
0880-66-0346
0880-34-2166

FAX

0887-35-4370 高知県安芸市桜ヶ丘町 7 8 4
088-863-6209 高知県南国市東崎 9 5 7 - 1
088-833-7666 高知県高知市棧橋通り2丁目 11 - 6
0880-66-1016 高知県宿毛市平田町戸内 2 2 7 2 - 2
0880-35-6335 高知県四万十市古津賀 3 7 1 1

住所

高知高専 環境都市デザイン工学科

氏名	専門分野など	電話番号	Eメール	
寺田 幸博	防災工学	088-864-5586	terada@ce.kochi-ct.ac.jp	副会長
小田 憲史	建築構造	088-864-5584	oda@ce.kochi-ct.ac.jp	
西岡 建雄	建築設計	088-864-5585	nishioka@ce.kochi-ct.ac.jp	
竹内 光生	都市計画	088-864-5587	ttake@ce.kochi-ct.ac.jp	
勇 秀憲	構造工学	088-864-5588	isami@ce.kochi-ct.ac.jp	
山崎 利文	国土情報工学	088-864-5591	tyama@ce.kochi-ct.ac.jp	
岡林 宏二郎	地盤工学	088-864-5589	oka@ce.kochi-ct.ac.jp	理事
山崎 慎一	水環境工学	088-864-5671	syama@ce.kochi-ct.ac.jp	
横井 克則	コンクリート工学	088-864-5582	yokoi@ce.kochi-ct.ac.jp	
岡田 将治	河川工学	088-864-5654	okada@ce.kochi-ct.ac.jp	常任幹事

賛助会員

吉川 正昭	耐震工学		yoshi@ce.kochi-ct.ac.jp	
黒岩 哲夫	構造力学		kuroiwa@ce.kochi-ct.ac.jp	
秋山 幸二郎	実験実習		akiyama@ce.kochi-ct.ac.jp	

高知県建設系教育協議会 高知大学農学部 会員名簿

氏名	ふりがな	専門	TEL	E-mail	当会役職
大年 邦雄	おおとし くにお	防災水工学	088-864-5172	disaster@kouchi-u.ac.jp	理事
紙井 泰典	かみい やすのり	水資源学	088-864-5167	kamii@kochi-u.ac.jp	常任幹事
齋 幸治	さい こうじ	水環境学	088-864-5176	sai@kochi-u.ac.jp	
笹原 克夫	ささはら かつお	流域土砂管理学	088-864-5341	sasahara@kochi-u.ac.jp	
佐藤 周之	さとう しゅうし	流域水工学	088-864-5150	syu@kochi-u.ac.jp	
佐藤 泰一郎	さとう たいいちろう	土地保全学	088-864-5170	satot@kochi-u.ac.jp	
篠 和夫	しの かずお	施設工学	088-864-5111,5162	shino@kochi-u.ac.jp	副会長
伴 道一	ばん みちかず	流域水工学	088-864-5176	ban@kochi-u.ac.jp	
藤原 拓	ふじはら たく	防水水工学	088-864-5163	fujiwarat@kochi-u.ac.jp	
松本 伸介	まつもと しんすけ	施設工学	088-864-5169	mazmoto@kochi-u.ac.jp	

高知県建設系教育協議会 高知工科大学 システム工学群 建築・都市デザイン専攻 会員名簿
(工学部 社会システム工学科)

氏名	ふりがな	専門	TEL	E-mail	当会役職
草柳 俊二	くさやなぎ しゅんじ	建設マネジメント	0887-57-2415	kusayanagi.shunnji@kochi-tech.ac.jp	会長
藤沢 伸光	ふじさわ のぶみつ	耐風工学	0887-57-2417	fjisawa.nobumitsu@kochi-tech.ac.jp	理事
中田 慎介	なかた しんすけ	鉄筋コンクリート耐震構造	0887-57-2414	nakata.shinnsuke@kochi-tech.ac.jp	
大谷 英人	おおたに えいじん	まちづくり計画学	0887-57-2413	otani.eijin@kochi-tech.ac.jp	
島 弘	しま ひろし	コンクリート工学	0887-53-1041	shima.hiroshi@kochi-tech.ac.jp	
高木 方隆	たかぎ まさたか	国土情報処理工学	0887-57-2409	tkagi.msataka@kochi-tech.ac.jp	
那須 清吾	なす せいご	行政経営	0887-57-2792	nasu.seigo@kochi-tech.ac.jp	
大内 雅博	おおうち まさひろ	コンクリート工学	0887-57-2411	ouchi.nasahiro@kochi-tech.ac.jp	
重山 陽一郎	しげやま よういちろう	景観デザイン	0887-57-2402	sigeyama.yoichiro@kochi-tech.ac.jp	
吉田 晋	よしだ しん	建築意匠	0887-57-2407	yoshida.shin@kochi-tech.ac.jp	
渡辺 菊眞	わたなべ きくま	建築意匠	0887-57-2412	watanabe.kikuma@kochi-tech.ac.jp	
五艘 隆志	ごそう たかし	建設マネジメント	0887-57-2770	goso.takashi@kochi-tech.ac.jp	
永井 博之	ながい ひろゆき	鋼構造	0887-57-2500	ngai.hiroyuki@kochi-tech.ac.jp	常任幹事